

授業科目	科目概要・形式	配当年次
がん看護学実習 I	2 単位 90 時間	1 年 後期
科目責任者	鳴井ひろみ	
担当者	鳴井ひろみ、横田眞理子、竹内可愛、小田島綾子、本間ともみ	
1. 科目のねらい・目標 複雑な問題をもつがん患者・家族を受け持ち、直接ケアの提供を通して、エビデンスに基づく専門的知識・技術・判断能力を用いた看護援助を実践できるような能力の修得を促進し、がん看護専門看護師に必要な高度看護実践能力およびがん看護専門看護師として新たな役割を開発する能力を育成する。		
2. 授業計画・内容 <実習内容> 1) 実習目的および自己の関心領域に基づいて実習病棟を選択し実習計画を立てる。 2) 担当教員およびがん看護専門看護師の指導のもと、がん治療を目的に入院している患者または外来通院に移行する患者・家族を受け持ち、学内で学習した知識を活用して、受け持ち患者の看護過程を展開する。 3) 複雑な問題をもつがん患者・家族に対する看護過程の展開を通して、エビデンスや理論・概念に基づいて患者・家族が抱える複雑な問題を明確にし、身体的・心理社会的苦痛を緩和するために、患者・家族に必要とされる看護をがん看護専門看護師と協働して実践する。 4) 受け持ち患者・家族への看護過程の展開を通して、高度看護実践を行うためにがん看護専門看護師として果たすべき役割および課題について考える。 5) 看護スタッフおよび多職種（地域連携も含む）とのコミュニケーションを通して、がん看護専門看護師としての役割について探求する。 <実習場所> 岩手医科大学附属病院 東北労災病院 <実習指導体制> 1) 教員および実習指導者（がん看護専門看護師）は、実習記録およびカンファレンス内容を指導する。 2) 教員は、施設の実習調整担当者、実習病棟看護責任者、がん看護専門看護師と連携して、学生の教育環境を調整する。 3) 実習指導者（がん看護専門看護師）は、受け持ち患者・家族に対する看護の実践場面に学生を参画させ、がん看護専門看護師の役割について考える機会を提供する。 4) 実習指導者（がん看護専門看護師）は、受け持ち患者のケアに関わる多職種と連携し、事例分析、ケースカンファレンスの内容をスーパーバイズする。		
3. 教科書、参考書 指定しない。実習状況によって随時、提示する。学内での既習事項を各自で効果的に活用すること。		
4. 成績評価方法 実習目標の達成度（65%）、実習への取り組み状況（5%）、複雑な問題をもつがん患者・家族に対する看護実践についてのケースレポート（30%）を総合して評価する。		
5. 受講要件 がん看護専門看護師コースの学生は必修		
6. 社会人学生に対する配慮 相談があれば個別に対応する。		
7. その他 実習目標に基づき、これまでの経験から自己の課題を明確にして臨むこと。		